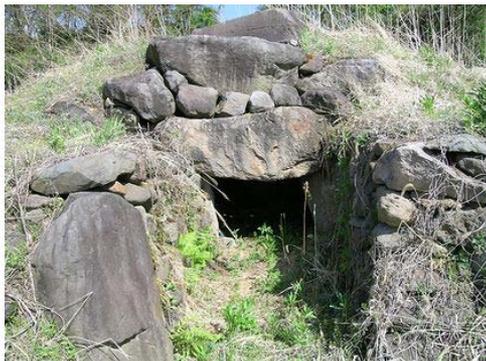


メガネ



めがね古墳(長野県)

「埼群古墳館」 <http://sgkohun.world.coocan.jp/nagano/miyota/megane.html>

Bブロック 全作品と講評

www.columnland.net/

にて作者さん&読者さんの声実況中

せめて二秒見つめて、

蝉の音がうるさい。でもそれ以上に心臓の方がうるさい。汗がひとしずく首筋をつたった。

顔が近づきすぎて視界がぼやける。眼鏡を外された。一瞬、焦点があった視界の中に向こうの瞳が見えて、すぐに堅く目をつぶる。

真つ暗闇の中、心臓の音だけを響かせて、

ソーダ味のキスをした。

もし私が結婚したとしたら、旦那さんと初めて好きになった人の話をしよう。そしてあなたのことはもつとずっと大切にするよって伝えよう。

もし私に子供が生まれたとしたら、お母さんの初めて付き合った人はねってちよっぴり甘酸っぱい昔話をしよう。そしてあなたも素敵な恋をたくさんするのよって言おう。

そしてもしその子が私似の眼鏡の女の子だったとしたら、初めてのキスの話をしよう。そしてキスする前に眼鏡を外されて、急にクリアになる視界が世界で一番きらきらしているのよってこっそり教えてあげよう。

漸進性失明症候群

一九八六年、オハイオ州のシンシナティで発見された新種の感染症は、瞬く間に感染を拡大し、患者数は初めの数ヶ月で二千人を超えた。

Gradual Blind Syndrome

「漸進性失明症候群 (GBS)」と名付けられた

その病気は、感染すると次第に視力が低下し、重度の近視に酷似した症状を呈す。視力の高い人でさえ、数週間で見えなくなるとすらまもなくなくなり、一ヶ月もすると歩くことすらまもなくなくなる。元々視力が低かった感染者は症状の進行が急激で、最悪の場合、失明に至る。

かつて類を見ない新たな病気を前に、当時の社会経済は大混乱に陥った。閉店・休校が相次ぎ、株価は暴落し、企業は経営不振に迫られた。八〇年代初頭の不況から脱却しつつあったアメリカ東部の経済は、事態を受けて一挙に後退した。市民は疑心暗鬼に駆られ、眼鏡をかけた人々が不当な差別を受けた。眼鏡をかけているというだけで学校や飲食店への立入りを拒否される例が相次いだ。

感染拡大を阻止するため、大規模な疫学調査が行われた。ミシガン州のデルリッシュ大学を中心とした疫学チームは、様々な感染経路を綿密に調査した。

GBSの特異な点は、その感染経路にあった。咳やくしゃみが出ない病気であるにも関わらず、あたかも空気感染のような振舞いを見せるGBSにチームは困惑した。しかもマスクの効果は全く得られないのである。GBSウイルスは何を媒介として感染するのか。調査は一向に進展しなかった。その間にも感染は拡大の一路を辿り、インディアナ州、ケンタッキー州にも症例が確認された。

GBSに対する有効な打開策も見い出せず、WHOの警戒宣言が発令されようとしていた頃、ついにセントルイス大学の研究者がGBSの正体を突き止めた。彼は患者の眼球から摘出

した水晶体を分析し、その組織がある種の癌に侵されていることを発見したのだ。「漸進性失明症候群」は、それまで考えられていたウイルス性の感染症ではなく、水晶体の病変によって引き起こされる疾患だったのである。さらに研究者は、その病変した水晶体から特殊な電磁波が放射されていることを発見した。そして、その電磁波を健全な水晶体に浴びせると、それが病変することも。

この時、感染学界に新たな項目が加えられた。「光感染」である。「漸進性失明症候群」は、感染者と視線が交わることによつて感染する病気だったので。

すぐに、電磁波を遮断する加工を施した眼鏡が開発された。眼鏡の普及に伴い、感染者数は激減し、感染拡大は見事に食い止められた。

事態が収束した後も、疫学チームは感染源を特定するため調査を続行した。水晶体の病変を引き起こした電磁波のそもそもの出所を探したのである。調査の結果、驚くべき事実が判明した。件の電磁波は、感染防止用の眼鏡を開発した大手眼鏡会社の広告看板から発せられていたのである。

全ては白日の下に晒された。FBIの追求によつて、その会社の壮大な陰謀が明らかになった。会社の技術者が偶然発見した「水晶体を病変させる電磁波」を広告看板の光に紛れ込ませ、多くの市民を眼鏡なしではいられないように仕向けたのである。事実、感染の拡大に伴つて眼鏡の売上げは数倍に伸びていた。感染防止眼鏡の開発がいち早くできた理由も、ひとえにここにあった。

FBIの取り調べの中で、社長は電磁波混入を決定したいきさつについて、次のように供述したと言われている。

「眼鏡が狂っていました」と。

面倒

「……………」

「どうした？」

「ちよっとね……………」

「悩み？」

「恋の悩みか?!」

「……………」

「なんだよ! 気になるわ!」

（相手は誰だ?）

「……。実は、近視になったばかりさあ……………」

「ええ、マジで!」

（なんだよ）

「どうしよう……………」

「お前、姿勢が悪かったんだろ!？」

（当たり前だろ!）

「……………」

「後ろから見えていたけど、ひどかったもん!」

「なら注意しろよ!」

「お前が悪いんだろ!」

「はあ」

「とりあえずメガネ作れよ! それじゃ黒板見えないだろ?」

「前の方に座れば大丈夫!」

「でも……………」

（なんで迷う?）

「本当のこと言うと、ちよっと抵抗があつて……………」

「ええ、ならコンタクトは?」

「それも……………」

「じゃあ視力回復とかテレビでなかった?」

（めんどいなあ!）

「それをやろうと思ったけど、信じていいのか……………」

「ええ」

「はあ……………」

「いらっしやいませお客様。当店では一風変わった眼鏡を製作しております」
 「一風変わった眼鏡？」

「魔法の眼鏡でございます」

ファンシー・グラスアイズ

「まずはこちらの商品。何でも透視する眼鏡です」

「ほほう、銭湯なんか覗き放題だし、麻雀なら相手の手牌も見れる。本当に透視できるなら、まるで夢の商品じゃないか。」

「お気に入りでしたか。さあ、まずはご試着でも」

「……ぐえっ、気持ち悪い。君の内臓が丸見えだ。これじゃ覗きも嬉しくないよ。」

店員は暫く考えたあと、眼鏡を「要調整」と書かれた箱に投げ込んだ。

「お次はこの商品、どんなものも美しく見える眼鏡です」

「ほほう、君がまるで見違えるように格好よくなったな。見慣れた風景も、こんなに素晴らしいものだったとは。」

「よくお似合いですよ。ささ、鏡をどうぞ」

「ふむ、確かに素晴らしく似合っているな……だが、この眼鏡をかけていては、本当に似合っているかどうかわからないぞ。ひよっとして詐欺じゃないのか。」

店員は暫く考えたあと、眼鏡を「改良不能」と書かれた箱に投げ込んだ。

「最後はこの商品、かけるだけで頭が良くなる眼鏡です」

「ほほう、インテリに縁のない俺だが、どんどん頭が冴えてくるぞ。前のと違って、これには欠陥もなさそうだ。よし、買うぞ。幾らだろう？」

「一式あわせて一兆円でございます」

「なに、それは高すぎる。とても払えたもんじゃない……いや、いい考えが浮かんだぞ。見たところ店員は君一人だし、力も強くなさそうだ。ここで君をねじ伏せてしまえば、タダで眼鏡が手に入る。逃走経路も全部計算済みだ。いい眼鏡をありがとうよ、お人よしさん。」

そういつて飛び掛ろうとした瞬間、こめかみの辺りがチクリと痛んだ。

「当店の店員は、人の心が読める眼鏡をかけております。申し訳ございませんが、お客様にはお休みになつて頂きました。正当防衛でございます。ご了承下さい……しめしめ、健康そうな実験体が手に入ったぞ。眼鏡の見え方について、脳を解剖して実験しなければ……」

店員は暫く呟いたあと、眼鏡を「非売品」と書かれた箱にそっと置いた。

うさたかかきつこたはたきんたんへ

「あさあさ」の「あさあさ」が

うさあさうさあさうさあさうさあさ

あさあさあさあさあさあさあさあさ

うさあさうさあさうさあさうさあさ

あさあさあさあさあさあさあさあさ

うさあさうさあさうさあさうさあさ

あさあさあさあさあさあさあさあさ

うさあさうさあさうさあさうさあさ

「あさあさ」の「あさあさ」が

アクセサリー…メガネ

説明度が入っているメガネと度が入っていないメガネの2種類ある。度が入っているものを着けると、視力が上がるかもしれない。また、どんなメガネにも関わらず、かわいさまたはかつこよさが上がるかもしれない。

とある街のアクセサリーショップにて、
「どう？」

メガネを試着した少女が、一緒に旅をしている少年に問いかける。

「え…」
少年は少女に見とれてしまったようだった。

しばらくして、
「ねえ、買おう。」
「えっ？」

少女はそのメガネを気に入ったようだが、少年はそのメガネのタグを見ると、そこに書かれていた値段は1万2千。今、少年たちの手持ちは1万3128。この先に現れる手強い敵を倒すために武器を鍛えなければならぬが、その費用は1万。

少年は困ってしまった。少女のかわいさをとるか、武器を鍛えるか。

さあ、どうする。

生まれ変わったあいつ、生まれ変わる俺

メガネをかけていたあいつはよくガリ勉に思われてた。
ブサイクだと、陰で言われていた。

「メガネが嫌い。早くはずしたい。」
あいつの口癖だった。

ある日、「母親に頼んでコンタクトに変えることにした。」
と言われた。
そうかと応え、それだけで終わった。

一週間後、見たこともない美人が前を歩いていて。
あいつだった。
周りのやつはみんな振り返る。

メガネをはずしてから、あいつには友達がふえた。
俺と過ごす時間も減った。
悲しい。でも笑顔のあいつを見たらそんなことどうでもよくなった。

メガネからコンタクトにただで、ここまで人が変われるなら、俺
も変わらなければいけない。

あいつがない生活に慣れなければいけない。

「面白いメガネがあるんだ」
 行きつけの骨董屋の主人はそう言った。愚えば、
 その時すでに私の運命はある意味で終わっていたの
 かもしれない。

一日目

これは驚いた。新しく買った眼鏡は今までにない
 ほど私の視界を鮮明にさせ、全てを見通させる。
 見えすぎるほどに。

二日目

出勤時に変な人を見た気がする。一瞬だからよく
 わからなかったが、全身が真っ赤だったような……
 それにしても人身事故とは迷惑なものである。ち
 ようど利用駅で人が飛び込んだらしく、一時間半も
 電車が止まっていた。

四日目

いた。今日もいた。昨日の男ほどではないが、服
 がところどころ赤かった。あれが最近の流行なのだ
 ろうか。

七日目

あれから毎日のように赤い人々を見る。それが、
 私の会社にもやってきた。正確には少し違うかもし
 れない。

同僚のKが、赤くなっていた。
 なぜあいつは舌が飛び出ているのだろう。なぜ口
 から目からいろんな物を吐き出しているのだろう。
 気持ち悪い気持ち悪い気持ち悪い。

八日目

Kが死んだ。借金を苦に自宅で首を吊ったそうだ。

九日目

この時になってやっと私は理解する。いや、目を
 逃らすことをやめた。
 この眼鏡は人の死を映すのだ。

十一日目

悩んだ挙げ句、眼鏡を返品することに決めた。
 ——のだが、骨董屋がなくなっていた。
 通り掛かった人に聞いたところ、骨董屋はもう十
 年も前に主人が亡くなり店をたたんだそうだ。

十二日目

しようがなく新しく眼鏡を買いに行ったが、予想
 通りそれでは駄目だった。
 気づいていた。私の目はもう、この眼鏡なくして
 はほとんど何も映さない。

二十一日目

死が見えた者は次の日に死ぬ。
 私は慣れていた。赤い視界に、人の死に。

四十五日目

母の顔が、土気色になって見えた。

六十八日目

ついにこの日がきてしまった。
 怖い怖い怖い怖い怖い怖い逃げたい早く逃げ
 なくてはい——どこに？

ああ、私はとつくに狂っているのだろう。この視
 界はその証に決まっている、そうであってくれ。
 ……自分の体が、血に染まって見えるのだ。

六十九日目

no data...

相棒

メガネをかけて

広がる世界をフレームに切り取る

そこだけがよく見えて

視界の端はぼやけてる

寝る時はとろう

布団の中ぐらいいいやなものは見たくない

風呂ではとろう

自分の顔は見たくない

ラーメンを食べる時はくもる

相性が悪いらしい

冬の地下鉄でもくもる

ちよつと恥ずかしい

コンタクトにかえる

見え方は多少かわるが

たいしたことはない

僕の相棒は

中3の時から日替わりになった

でも家ではアイツをかける

まだまだよろしく

いろいろメガネと誤解

やっぱり、うわさに聞いた通りだわ。なんて、いやらしい眼をしているの？さすが、前の学校

でマドンナだっただけあるわ。そんなかわいい顔して、いかにも私転校生で初めてで

何も分なくて不安、みだいにもじもじしてみせたってそれがわざとだって

ことわかってんのよ。私はあなたみたいなのぶりっこフリ子に騙され

ないんだから。今日子・2年B組色眼鏡II噂

さすが、B男の情報網は正しいな。今度の転校生はとびつきりかわいくてけなげそうだけ。前

の学校はいじめがあったって聞いたけど、もしかしてこの子はいじめられて学校を変

えたのかな？そうだろうな苦労してそうだしなあ。まっすぐな黒髪やほっそ

りした手首に足首……うん、この子はきつとおとなしい子なんだ！

おれが守ってやらなきゃ！ 武・2年B組 色眼鏡II間違った情報

噂に聞いたとおりの学校だな。ほかそうなやつやじゃがいもばかりだ。ま、こ

んな程度だったら3ヶ月もあれば牛耳れるだろう。前の学校のように……。転

校生は、少し遠慮目にはくそ笑み、ほうっておいて伸びてしまった長い髪を顔か

ら払い、これからの日々に期待しながら花がむずかゆかったのにくしゃみをした。

転校生・2年B組 色眼鏡II自分を過信

あの子私の友達に似てる気がする……そうだよ！物欲し

げな目と照れくさそうな口元がそっくりだもん。それでいて、意外

としっかり者なんだよなあ。きつと、あの子も私の友達と同じで腐女子よ。

ぜったいそう。だって私の友達そっくりなもの。あの子とは、すべ仲良くなれそう

気がするわ。歌里菜・2年B組 色眼鏡II思い込み

コアラみたいな顔したやつがだ、あいつは油断できないん

ぞ。さっき、職員室であの子を見かけたとき「格闘技のすべて」っ

て本を熱心そうに見つめているのを見てしまったからな。あの眼は、獲物を見

る目だ。俺のを品さだめしているんだ。うわ、いますごく顔がゆがんだぞー怖くて思

わず顔をそむけちゃったじゃないか……とにかくちひは油断できんぞ。

貞治・2年B組 色眼鏡II間が悪い

そのうち、2年B組ではひと波乱あったことは言いつまでもない。

僕とメガネ

中学二年生

初めてメガネをかける。

当時好きだった子に、小声で「キモい」と言われる。

中学三年生

当時付き合っていた子と別れる。

その帰り道、涙を拭った瞬間、メガネが外れてドブに落ちる。

高校三年生

新しいメガネを買う。

当時好きだった子をデートに誘い、初めてそのメガネをかけて行く。
意を決して告白するもあえなくフラれる。

予備校時代

メガネを拭くためにメガネを外す。

それ程話したことのない隣の席の女の子が僕の素顔を見て吹き出す。
「そんな顔してたんだ」と言われる。

大学一年生

メガネを外すとこのび太君に似ているという噂が流れる。

やむを得ずみんなの前でお披露目するもそれ程似ておらずシラける。

メガネは僕に

すばらしい思い出と

何事にもめげない精神力を与えてくれた。

メガネをかけていて本当によかった…

転職しろよ

このメガネショップで働き始めてもう五年になる。近視や遠視、乱視など、お客様の不都合な点に合わせて最適なメガネを提供することが僕の役目である。自分自身も乱視でメガネをかけていて、メガネの大切さがよく分かる。だからいつも真摯になってお客様のメガネを選んで勧めているつもりなのだが、どういうわけか売り上げで若手に負けている。どうもおお客様の信頼を得られていないようだ。やはり胸のプレートに書いてある僕の名前が悪いのだろうか。

「伊達」

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	あなたとのさようなら	6 pt	7 位	0 sp
		会うは別れのはじまり。どんなにお世話になったモノでも、容赦なく別れの日はやってくる。そこをとてあつけらかなと、「そして、さようなら」と投げた思い切りの良さがすがすがしい今週の表紙でした。		
A02	眼鏡とは？	7 pt	5 位	2 sp
		がっつり正統派。神がかり能力を持つてるよね、だから「鏡」なのさとロジックも力強く説得的で、メイドカフェへの寄り道という読者サービスも効いてます。 惜しいのは、かわいい女の子+メガネ=残念という図式。序盤で読者を敵に回してしまうのは避けたい。 特別賞：メイド賞（白いエプロン着てたから）メガネの神秘賞（大胆さ！）		
A03	俺のメガネ	7 pt	5 位	3 sp
		とぼけ味が絶妙でした。 たんとと語って、そのさりげなさのままでクライマックス。さあ行くぞ行くぞと大げさな身振りから発せられる笑いと異なった味わいです。 「ごっそり」という個性的な形容もいいなあ。 特別賞：残念賞（残念！）かわいそうで賞なつかしいで賞（どこかしらで起こっているから） イチオシフレーズ：「折れました。」		
A04	夢か現か	6 pt	7 位	2 sp
		あーあ、やっぱり夢と消えましたか、お約束の展開すぎるもんね。 読者の期待通りのオチなのですが、引っ張りかたのうまさと、特にラストの黒画面のマヌケさが光って、しみじみ苦笑。 特別賞：SNEG賞（輝いていた。液晶の中で）東工大には何人いるで賞（話がリアル）		
A05	むしめがね	13 pt	2 位	1 sp
		これはグッジョブ！ 一寸法師の思いのような。いやあの時代に虫眼鏡はなかったか。 視覚と文体のコラボレーションのお手本でした。 来週の「広告」でこの路線、爆発しそうですね。そんな先導者の役割もにないつつのシルバーメダル、おめでとう！ 特別賞：デザイン賞（デザインがいい） イチオシフレーズ：「あと5センチいや3センチでいい」「俺」×2		
		13 pt	2 位	0 sp
		人類交代、なるほどね。		

A06	新社会淘汰説	メガネ族という造型が秀逸です。しかも「合理的な性格」とちゃんと文明批評テイストも加えたところが、ただのお話に終わってない良さで、シルバーメダルも納得の筆力・構成力でした、おめでとう!! ただ、たった一世代でこうもドラスティックに逆転するかなあと、そこだけ疑問。 イチオシフレーズ：「最後の旧人類」
A07	そんなもんだよ	0 pt 12 位 3 sp 本文のパワフルさと、タイトルの脱力感の落差が、本人←見守るなまあたか目い目のようで、すてきでした。 その謎加減がみんなの心に残って、特別賞を3つも受賞です。 特別賞：そんなもんで賞（そんなもんだよ…。） 下限突破で賞（そんなもんですよね） いみわかんないで賞
A08	月下軍戯	16 pt 1 位 0 sp 少将、ハマリ過ぎ！スタイリッシュなセリフ回しに、そのすずやかな表情まで見えるようで、もうぞっこんです。 たった1シーンをフォーカスするだけで人柄や価値観、そして二人のあいだに結ばれた信頼感（むしろ恋心）まで描き出してブラボーです。 回文からスピカを経て、ついに射止めましたね、満月のごとき、まんまるゴールドメダル。おめでとうっ!!!
A09	約束の日	12 pt 4 位 0 sp 男性視点と女性視点、ふたりの人生にふたつのドラマ。出会って別れてまた出会う。 ちょっとせわしない感もあるけれど、両方のドラマを見せちゃえという欲張りサーヴィス二段組でした。 イチオシフレーズ：「しゅじゅちゅ」「今度は俺があなたを守る番ですよ」
A10	〇〇のメガネ	1 pt 11 位 0 sp 歌に託して歴史蘊蓄、そして日本の将来へ。 要所に歌詞を置いたことで、論点がクリアに見えるという工夫が良かったです。 個々のパーツはしっかりできているので、正統派としては、もう少し流れがつくれるとよりパワフル。
A11	母	4 pt 10 位 0 sp おかあさま最強。 バイオレンスな（はずの）光景を、まったり会話で進めてしまう、ちぐはぐ感が絶妙でした。 世の男性諸君の悲哀を背負って、息子くんがんばれ!? イチオシフレーズ：「土木作業員さながらだ」×2
A12	メガネの紳士	5 pt 9 位 4 sp ラストはムスカ。永遠の名セリフ。オマージュだったでしょうか。 なつかしの場面の追体験でした。 なんとなんと、いろんな意味での話題性、最多特別賞とイチオシフレーズ大賞とのダブル受賞です。 特別賞：ムスカ賞（ムスカ最高!!）TAの独断で賞（うちわねたルール違反なのに、なぜ採用した!?)（←TAさんに替わってコメントレギュラー投稿でした。いず

れにせよ既成のキャラクター依存ではあるけれど、うちわねたとまでは言い難いでしょう。) この班では知らない人が多くて残念で賞(乙。) バルス賞(ロムスカ・パロ・ウル・ラピユタ)
 イチオシフレーズ:「インドラ」×2「目がー!目がー!」×2「見ろ!人がゴミのようだ!」×2

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
		10 pt	5 位	2 sp
B01	せめて二秒見つめて、	<p>あうあう。「ソーダ味のキス」にTA陣めろめろで本選入りしました。 乙女心のどきどき感がしっかり伝わってきます。 それとともに乙女心おそろべし。メガネをはずしちゃうような遊び人には、自分の将来は預けないよとハナから見切っているのね。 ゆでたまご妄想から、渋い漁師さんになって、こんどはソーダ味。いちばん恐るべきはこの書き手さんのオールラウンダーぶりかもしれません。 理想の味は何味が論争をフロアに巻き起こしつつ、ソーダ味がヒットしてのイチオシフレーズ大賞です。祝! 特別賞:ソーダじゃなくてレモンで賞(レモンだったらもっとポイントが入っていたかも)私はポカリスウェット味のkissがいいde賞(だってもっと、甘いのがいいじゃん) イチオシフレーズ:「ソーダ味のキスをした。」×5 (僕たちはレモンがいいです、とB-7班より)「せめて二秒見つめて」</p>		
		17 pt	1 位	2 sp
B02	漸進性失明症候群	<p>光感染。 秀逸なアイデアを、GBSだの水晶体の分析だのと細部を練り込んで、くっきり形にさせていただきました。 科学物から社会派へ。映画のストーリーになりそうなドラマを、このコンパクトななかにおさめて、オチまでついて、あざやか!フロアも本人も納得のゴールドメダルでしょう、おめでとう!!! 特別賞:超リアルで賞(フィクションなのにリアルっぽい)長いで賞(読むのがたいへん) イチオシフレーズ:「デルリッシュ大学」</p>		
		1 pt	11 位	1 sp
B03	面倒	<p>ふたりの会話プラス脳内ツッコミで三拍子。 語り手の関心の大きさがフォントの大きさとシンクロしている工夫がおもしろいなと読みました。 そこをもっと追求して派手に展開しても良かったか。 特別賞:めんどくさいで賞(ぐだぐだ感)</p>		
		16 pt	2 位	0 sp
B04	ファンシー・グラスィズ	<p>不思議なメガネが全部で4つ。ファンタジックでブラックで。 場面ごとにぽんぽんと見せてゆく展開の巧みさがここちよい。首位に1ポイント差と肉薄するシルバーメダルでした、おめでとう!! タネアカシ部分の説明セリフだけが、「要調整」と読みましたが、さて。 イチオシフレーズ:「ファンシー・グラスィズ」</p>		

B05	無題 (とんぼのめがねは……)	6 pt 6 位 2 sp	替え歌遊びで賑やかに。 最終連、リズムは崩れちゃったけど、しっかり反省してところがナイス。 特別賞：童謡賞 (「歌って」って無茶ぶりが発生!!) 松尾芭賞 (リズム感がよい……芭蕉の絵つきまたまたグッジョブB-10班)
B06	アクセサリ：メガネ	0 pt 12 位 2 sp	ゲームの1シーン、うんあるある、この悩み。と共感を誘うシチュエーションでした。 特に「さあ、どうする。」で止めたところが、読者を引き込む仕掛けになっていて良いですね。 特別賞：メガネを取るべきで賞 (メガネの方がカワイイから) F・Fで賞 (ぽいから)
B07	生まれ変わったあいつ、生まれ変わる俺	4 pt 8 位 1 sp	えーそこお？とラストの1行にざぶとん1枚。 だってふつうは、俺もあいつにふさわしいように変わるぞお、ですよ。 その裏切りぶりが、人生の達人を思わせました。 特別賞：SF賞 (美人はメガネごときで封じられません)
B08	鮮烈な視界	6 pt 6 位 1 sp	見えすぎてしまうことの不幸。赤をアクセントカラーに、文字通り鮮烈に造型してホラーまざまざ。 日記スタイルにしたことで、スピード感が備わってます。 特別賞：なすきので賞 (なすきのか……らしい) イチオシフレーズ：「気持ち悪い気持ち悪い気持ち悪い」
B09	相棒	2 pt 9 位 0 sp	そうだね。身につけるモノのなかでも、とりわけ愛着のわくアイテムでしょう。 タイトルもはまって、まっすぐさっくり語ってとても好印象です。 イチオシフレーズ：「まだまだよろしく」
B10	いろいろメガネと誤解	2 pt 9 位 0 sp	ひとりの転校生をめぐるっての色眼鏡鑑定4態。 それぞれに論拠が備わっているところが、うんうん、人の評価ってそうだね、と納得。ドラマの始まり気分で、ひとつの真実をお伝えいただきました。
B11	僕とメガネ	13 pt 3 位 3 sp	わあ、すごいすごい。 このヘタレ人生めと、へらへら笑っていたら「何事にもめげない精神力」がずどーんと不意打ち。おみごと！ そしてまさかの実話発言。ほおお、と身を捨てた芸にフロアは啞然、いやむしろ肅然。そんな嵐を巻き起こしつつ、めでたくブロンズメダル&最多特別賞ゲットでした。おめでとう!! 特別賞：のび太賞 (実話の人がいました) 作者の顔が見たいで賞 (メガネをはずすとにているというフレーズから) 前向きで賞 (応援したくなるから。) イチオシフレーズ：「のび太」「そんな顔してたんだ」
B12	転職しろよ	13 pt 3 位 1 sp	なるほどね、とラストでタイトルに戻れるつくりでした。そのシンプルさがウケてのブロンズメダルでしたね、おめでとう！ で、伊達さんに似合う職業は何でしょう。アパレル？

そんなふうにながしてみても、またおもしろい、かも。

特別賞：転職しま賞（はまったガ〜リガ〜リ君）

イチオシフレーズ：「伊達」×3